



空間計画における各国政府の役割 : OECDの見通し

Tadashi Matsumoto, Ph. D.

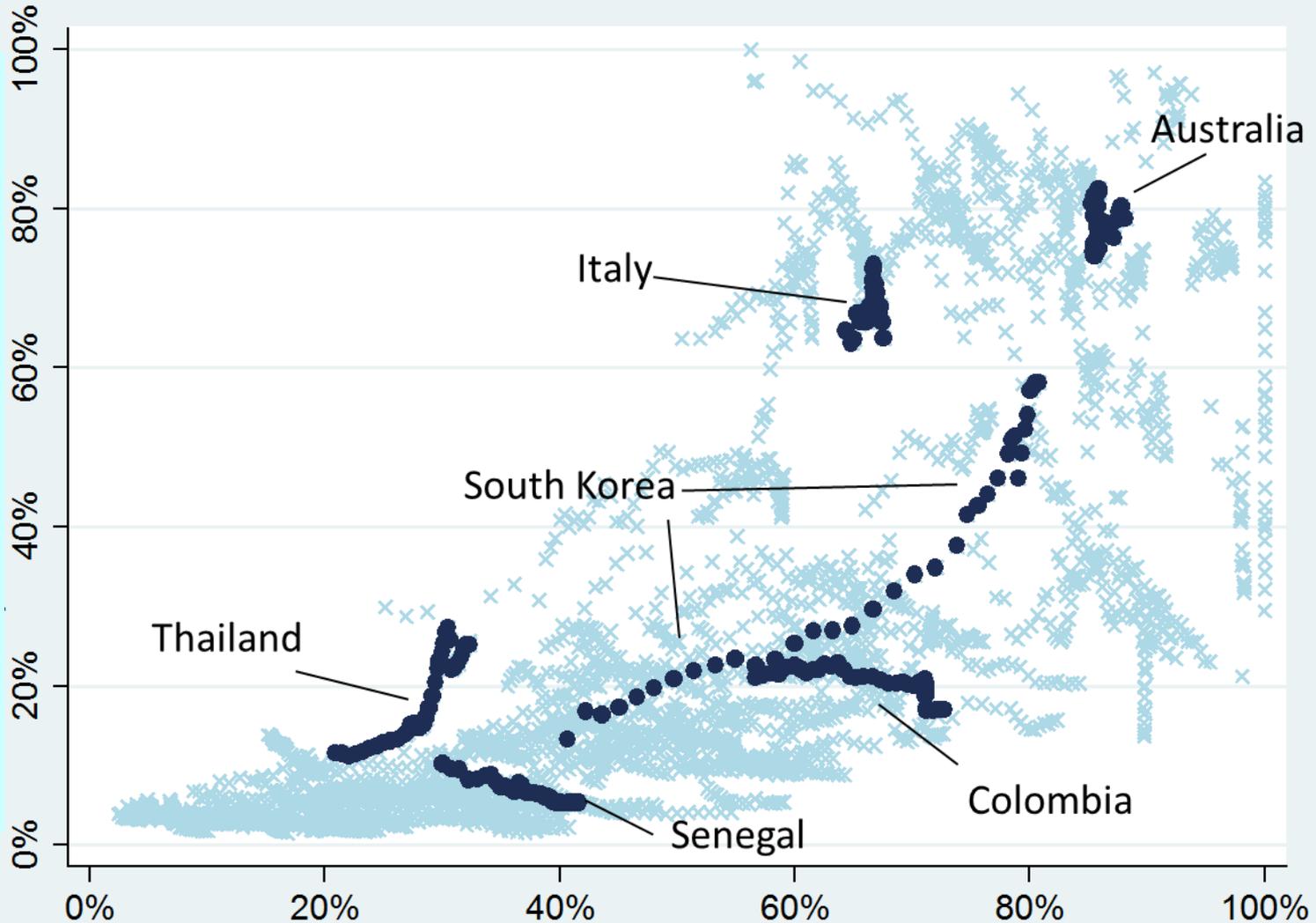
*Coordinator, National Urban Policy, Climate Change and Green Growth
OECD Centre for Entrepreneurship, SMEs, Regions and Cities*

*Presentation at the 1st Meeting of SPP
1 August 2018, Fukuoka, Japan*



都市化だけでは経済発展には不十分

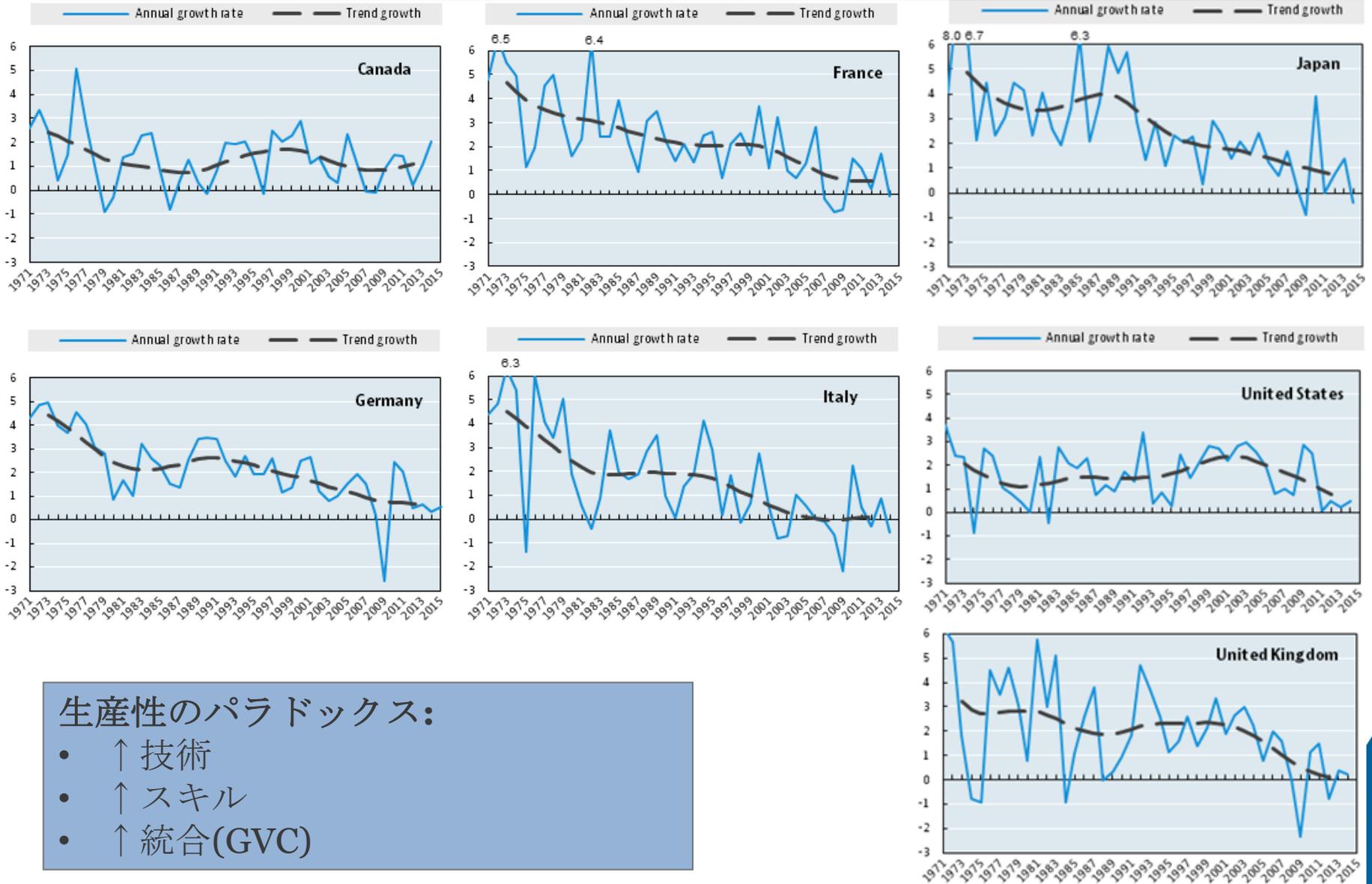
米国と比較した一人当たりGDP



都市化のレベル



労働生産性の向上：国の経済を活用する上で都市はどんな役割を果たすか？



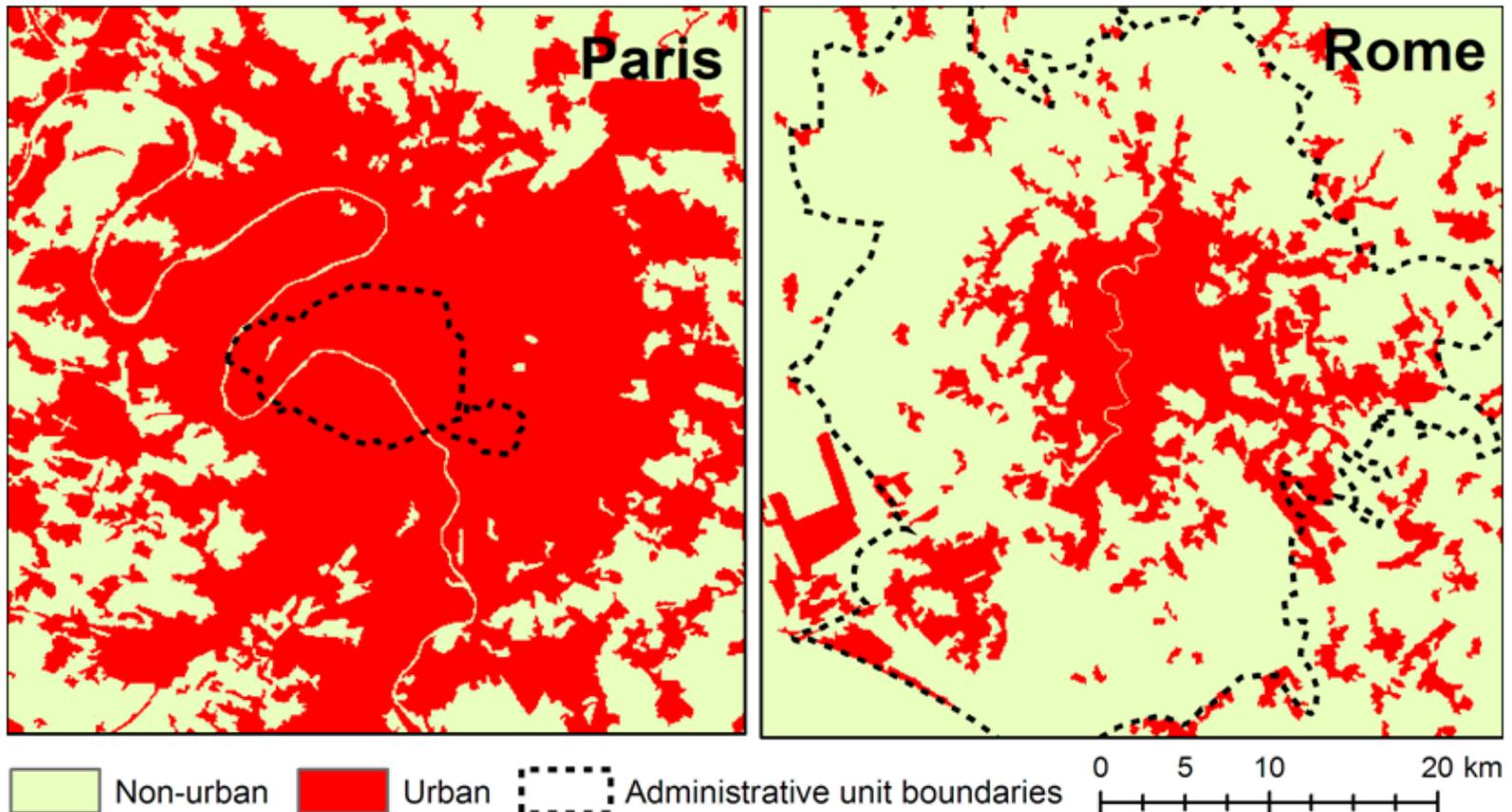
生産性のパラドックス:

- ↑ 技術
- ↑ スキル
- ↑ 統合(GVC)



「機能的都市地域」へのシフト

- 都市は行政境界を超えて拡大する





“都市を正しく受け止める”: OECDのアプローチ

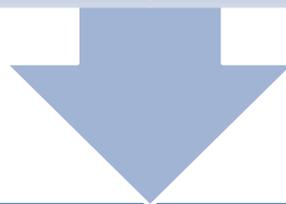
これまで

都市を行政主体とみなす行政ロジック

争点に重点を置いた問題主導型（大気汚染）

狭く定義された都市アジェンダ

課題へのセクター別、断片化された対応によるサイロアプローチ



これから

都市が機能的経済領域であるとする機能的論理

機会を重視した戦略的アプローチ（グリーングロース）

全体論的アプローチ

都市の課題を横断する総合的アプローチ



OECDのSPPへの貢献の可能性

- OECD国家都市政策レビュー
ポーランド (2011), 韓国 (2012), チリ (2013), メキシコ (2015), 中国 (2015), カザフスタン (2017), ベトナム(2018), ミャンマー (2019) ...
- OECD諸国の機能的都市地域(1 197), メトロポリタンデー
タベース(281)
- OECD プロジェクト “SDGへの領土的アプローチ” (2018-
20)
- 国家都市政策プログラム(NUPP) (2016 -)



ありがとうございました

Contact: Tadashi.MATSUMOTO@oecd.org